

大学運動選手を対象とした吃音に関する実態調査
体育学研究科 体育学専攻
博士課程 島谷 康弘
2025.6

概要

本研究は大学運動選手を対象に吃音に関するアンケート調査を行い、スポーツ現場における吃音選手の実態と困難を明らかにすることを目的とした。

結果として、性別や競技種目にかかわらず吃音を有する選手が存在することが示唆された。また、吃音に理解がある聞き手に対しては話しやすいと感じ、理解の有無が不安軽減に寄与することが示された。

さらに、吃音を有する選手は「大人数の前での発言」「ミーティング」「監督・コーチとの会話」で困難を抱えており、周囲の配慮が選手の自己表現を支援するうえで重要であることが明らかとなった。

論文情報

掲 載 誌：体育学研究, 70巻・557-568

タイトル：大学運動選手を対象とした吃音に関する実態調査

著 者 名：島谷康弘、杉田正明

U R L：<https://doi.org/10.5432/jjpehss.035-24035>